

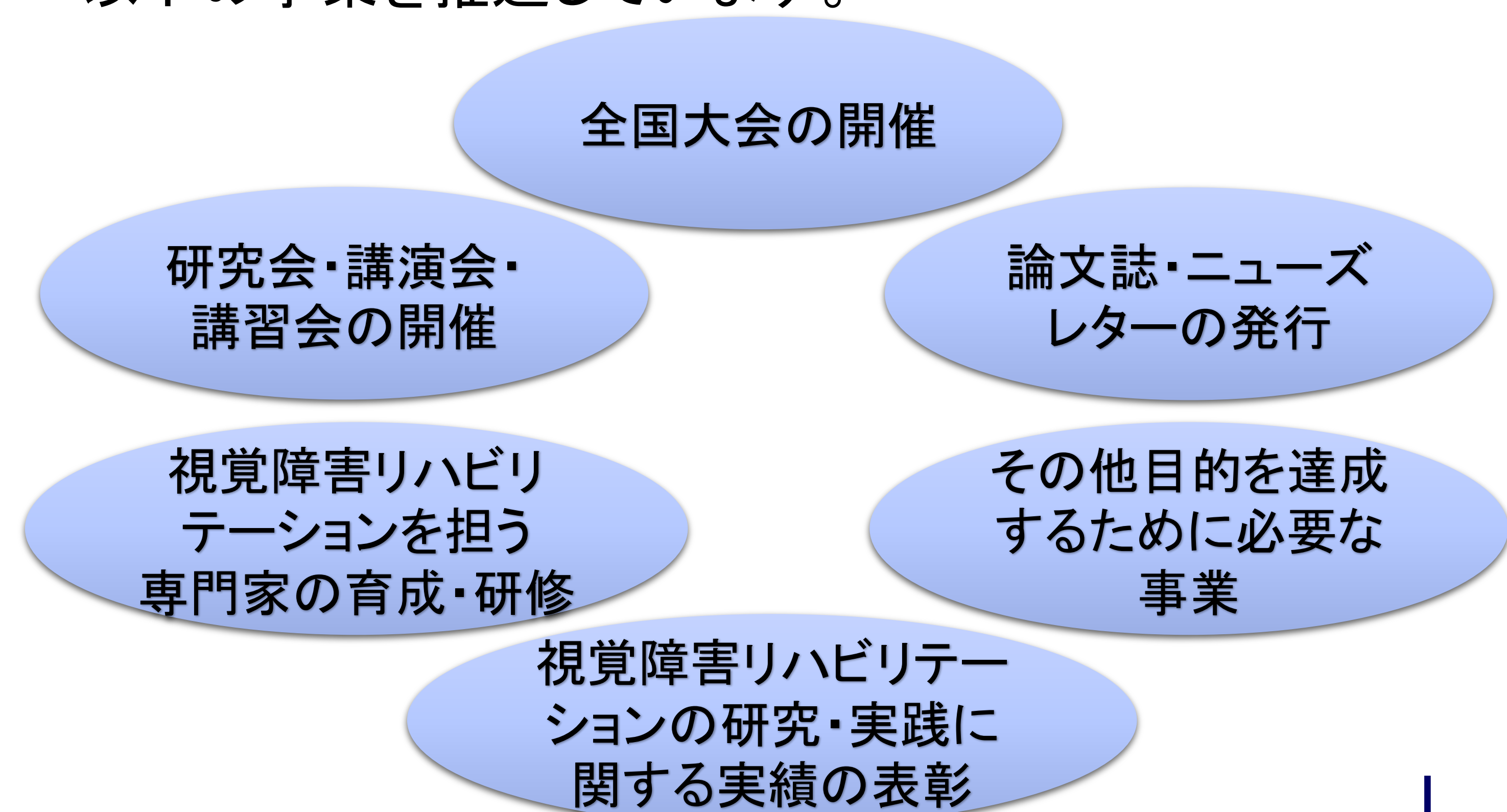
視覚障害リハビリテーション協会について

協会の目的

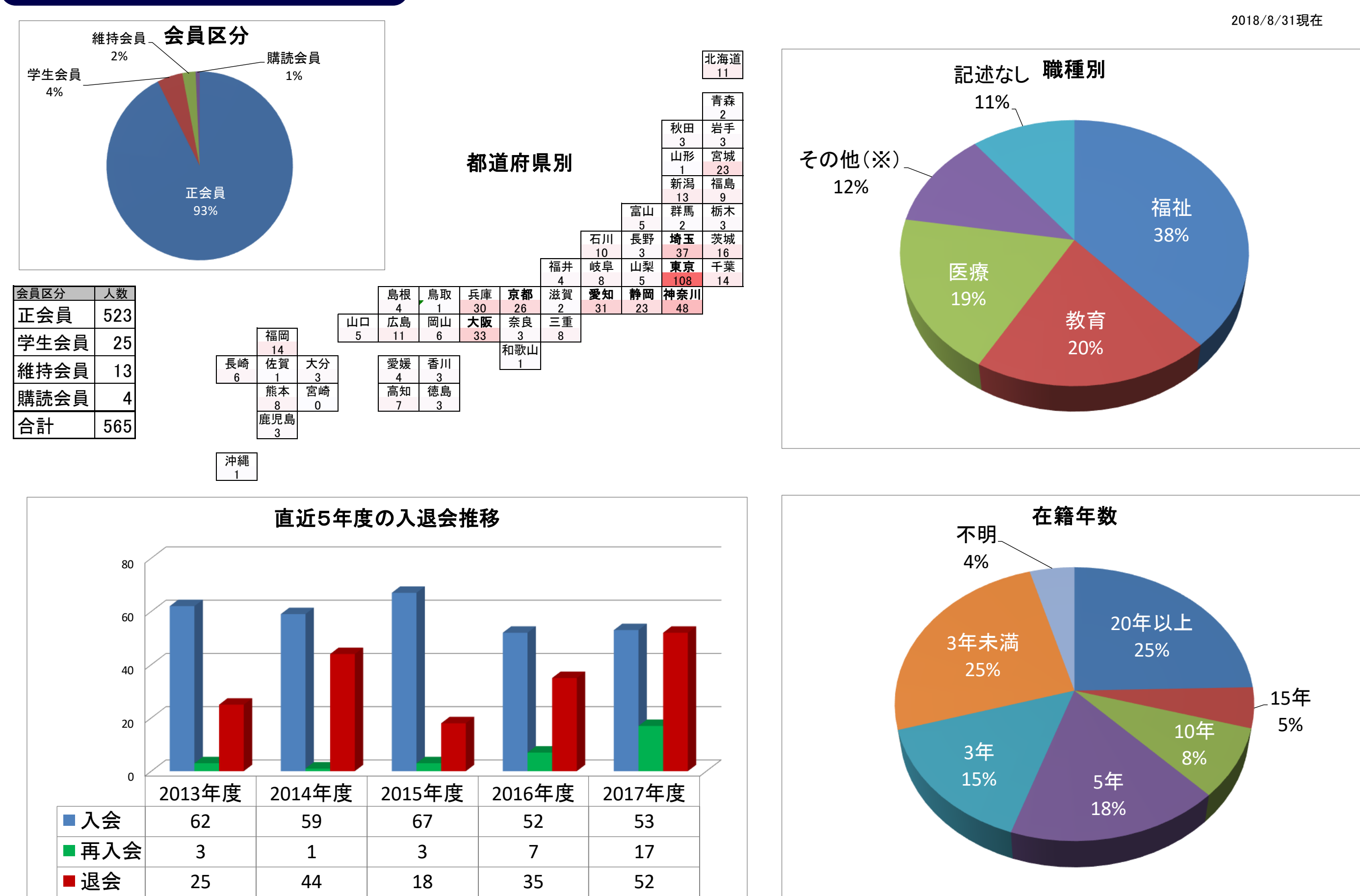
視覚障害リハビリテーション協会は、1992年2月に設立され、視覚障害者（児）に対する福祉・教育・職業・医療各分野におけるリハビリテーションに関心を持つ者の相互の学術的交流を図り、理解を深めるとともに、指導技術の向上を図る活動を通して、視覚障害者（児）のリハビリテーションの発展・普及に寄与することを目的として活動しています。

主な活動

視覚障害リハビリテーション協会は目的達成のために以下の事業を推進しています。



会員構成



北海道・東北ブロック会

このブロックの会員数は63人（全体の約11%、2018年8月現在）。

エリアがとても広大なため、研究発表大会の**地域ブロックミーティング**がブロックとしての唯一の活動となっている。

なお各々の地域事情に基づく視覚リハネットワークの活動がエリア内に多くみられる。

MORIOKA 2019 来年の視覚障害リハビリテーション研究発表大会は盛岡で開催します!!(7/26～28)

関連ポスター活-P-49

東海ブロック会

活動内容

愛知・岐阜・静岡・三重の4県で企画運営を担当持ち回り制にして年に1回のブロック会を開催しています。

昨年度は静岡県主催で、各県の医療・教育・福祉の連携状況の報告、OTONGGLASSの体験会、懇親会などを行い、合わせて50名の参加がありました。

関東・甲信ブロック会

- 明日の視覚リハへの学びと交流＝ブロック・オフ会を毎年開催。
- 2017年度は「ようこそ七沢へ！ ＊」2018年3月3日神奈川リハビリテーション病院眼科と神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢自立支援ホーム視覚部門を見学、ご講演で学ぶ。

- 2018年度は交通関係、2019年3月2日で準備中！
- 世話人さん募集中♪ 一緒にしませんか？

Facebookページの参加者は54名！



近畿ブロック会

- 年に1回程度の研修会・交流会を実施しています。

- 2017年度は神戸の岡本商店街で、視覚障害者用歩行システムの実証実験に協力する形で実施しました。



北陸ブロック会

□ 会員数

福井 石川 富山
4名 9名 4名

□ 会員の主な職種

眼科(医師、ORT、看護師)、福祉
盲学校、支援団体関係者等

□ 北陸初のコラボ企画開催決定 @金沢市

あうわ視覚障害者の働くを考える会講演会への後援・協力
日時:11月10日(土) 講師: 仲泊聡 氏

□ 今後の活動予定・目標

メーリングリスト・会員名簿の作成
地域ブロック会の実施・会員数増加

連絡先

amijako1971
@gmail.com
岡島までお気軽に



中国・四国ブロック会

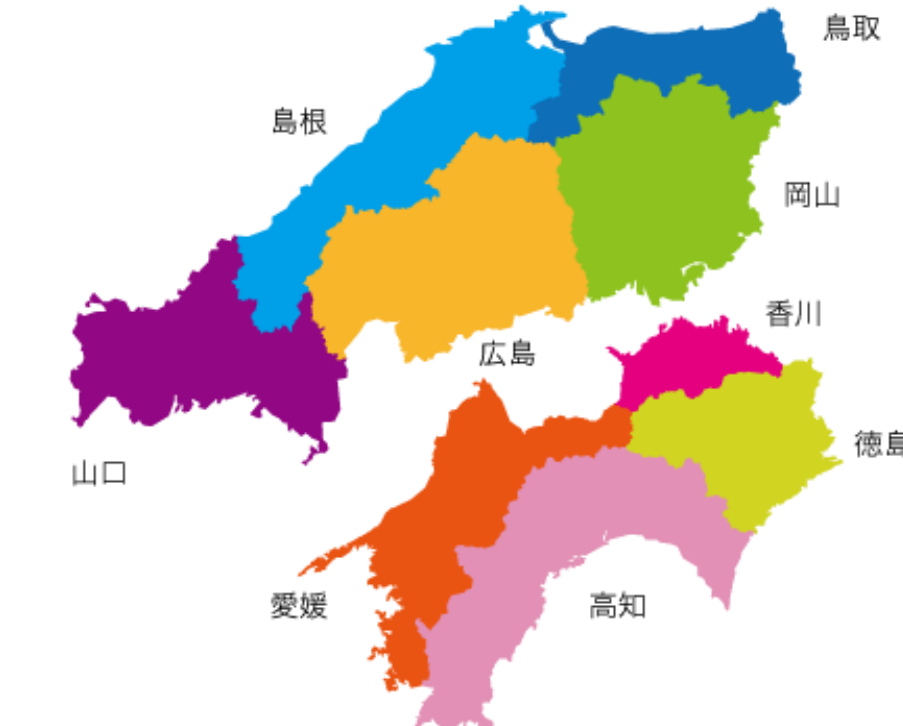
□ メーリングリストによる情報交換

- ・登録数:78名(非会員含む)
- ・視覚リハ、LVケアに関する質問など気軽に投稿
- ・各県でのイベント情報の共有

□ 年に一度の交流会

- ・中国地区・四国地区で隔年で開催
- ・地域での取り組み報告やWSなどを開催

中国・四国地方全国



中国四国地区の活動に参加、ご興味がある方はぜひお気軽に協会までお問い合わせください！！【担当:金平(高知)】



九州ブロック会

□ 活動内容

年1～2回、九州内で持ち回りで
担当県の病院・施設に共催・
協賛をお願いし、研修会を実施
しています。

その地域の支援者の方にも
お声かけし、視覚リハビリテー
ションの普及啓発・会員相互の
親睦を図っています。



平成29年度 熊本にて

高齢視覚障害者リハビリテーション事例研究分科会

1) 分科会設置目的

高齢視覚障害者の抱えている問題とその真のニーズの把握、サービスを提供する側の視覚障害リハ専門家がサービス提供時にどんな困難に直面しているか等を率直に話し合える場を作ること。

2) メンバー構成と分科会活動へのニーズ

職種 眼科医・視能訓練士・歩行訓練士・教員・同行援護サービス事業者など
ニーズ(研究したいテーマ)

特別養護老人ホームや介護保険関係のデイサービス等での高齢視覚障害者の置かれている現状の把握・介護保険の仕組みと報酬改訂後の状況の把握・ケアマネジャーや相談支援員との連携の作り方・高齢視覚障害者に適した余暇活動について・ロービジョンケアにおける留意点・認知状態の悪い高齢視覚障害者に対する歩行訓練の方法・同行援護サービスにおける留意点等。

3) 活動開始

第1回の勉強会を来年早々開く予定で準備中、活動スタートはこれから。

詳しくはポスター活-P-48を見てください

リハ協分科会 ロービジョンクラブ(JLVC) “絶賛会員募集中”

今すぐ！

JarviLVC



“視覚リハ×ロービジョン”の組み合わせで考えられる、“あらゆる”ことをみんなで考えていけるような、視覚リハの放課後のクラブ活動の場を作りたいと考えています。初心者もベテランも、迷いのある経験者のあなたもロービジョンに興味がある方は誰でも歓迎です！

活動の情報共有はメーリングリスト、オフ会、プロジェクトグループでのスカイプ会議など会員のやりやすい方法をとります。

日々の情報交換はもちろん、クラブ員からの随時/提案でつくるプロジェクトを実行していきます。

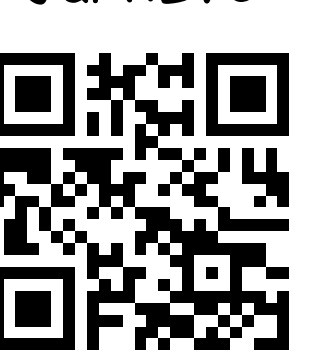
詳しくはQRコードまたは jarvilvc@gmail.com から1)お名前 2)所属 3)メールアドレスを送ってご連絡ください。メーリングリストで情報交換を行いましょう！！

現在進行中 プロジェクト

- 1)図書館プロジェクト “LVに優しい地元の図書館を探せ”
- 2)2019年岩手大会にてJLVC企画
「ロービジョン体験&機器展示の製品で “見える！” 体験！」
- 3)おもてなし講習会プロジェクト”全ての人に配慮したおもてなしを目指して！”

支援メンバー募集！

JarviLVC



Orientation & Mobility分科会

【活動内容】

1)歩行訓練事例や事故事例(たとえば鉄道ホームからの転落事故など)などを検討し、効果的な訓練法や事故の防止策を立案する。

2)視覚障害者のO&Mの安全性・効率性を保障するために開発・整備された最新の補助具・技術・環境について学ぶ。得られた知識を実際の歩行訓練で応用し、その効果を共有する場を提供する。

3)視覚障害者が、日本全国どこでも歩行に関する適切なサービスを受けられるよう、歩行訓練に携わる者がその個人に関する情報を共有可能な仕組みづくりをめざす。そのため、当事者の生活背景、視機能の程度、歩行訓練経過等を記した手帳／カルテ(仮称)を検討する。

【最近の活動と成果】

当事者を含め、56名が参加し、主にメーリングリストを利用して情報交換・共有を行っています。分科会のメンバーの一人が視覚障害者用道路横断帯(通称、エスコートゾーン)の補修工事における不備を発見し、メンバーの連携により、比較的早期の解決をしました。

詳しいことはポスター発表で確認ください！

情報アクセス分科会

【活動内容】

本分科会は視覚障害リハビリテーションに関わる者が情報アクセスに関する課題を解決するための活動をしています。

現在メーリングリストを開設し、最新の情報機器の話題やパソコン、スマートフォン、スマートスピーカーの操作方法、視覚障害者に操作可能な家電、災害時に容易にアクセスできるサイトの紹介や各地域での講習会の情報交換をしています。

余暇活動分科会

(RLS:Recreation Life Style)

□ 人生楽しんでますか？

□ この分科会では、全国の視覚リハ会員がメーリングリストを通じて余暇活動の情報交換を行っています。

□ 現在の会員数は21名。

□ 詳しくは ポスター発表 活動報告
「余暇活動分科会(通称:RLS)活動報告」をご覧ください。

たのしいこと

いきたいところ

おいしいもの